

令和7年度 第1学年 技術・家庭科（技術分野）			年間指導計画		
月	単元名／題材名 目標		時 数	指導目標／評価 ※指導目標…単元で身に付ける力、目指す 生徒の姿 ※評価…評価規準Bにあたる具体的な生徒 の姿	教科横断的視点 「言語能力」 「論理的思考力」
	小・中単元名／ 題材名／ 教材名	指導事項			
4	授業開き	技術分野のガイダンス	1	・年間の学習の見通しをもたせ、身に 付けたい力を確認する。	
	1編 生活や社会を支える材料と加工の技術 目標：生活や社会で利用されている材料と加工 の技術についての基礎的な理解を図り、 それらに係る技能を身につけ、材料と加 工の技術と生活や社会、環境との関わり について理解を深めるとともに、問題 を見いだして課題を設定し解決する力、よ りよい生活や持続可能な社会の構築に 向けて、工夫し創造しようとするこ とができる。			——指導目標—— 【知識・技能】 ・身の回りの製品に生かされている材料の特性 と材料に適した加工方法について理解してい る。 ・木材、金属、プラスチックなどの特性と特性 を生かした利用方法について理解している。 ・目的とする加工に応じた工具や機器につい て理解している。 ・工具や機器を適切に選択し、簡単な製作品 を製作できる技能を身に付けている。 ・身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活 動などを通して、構造と部材を丈夫にする方 法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・身の回りの製品が材料と加工の技術によっ て最適化されていることに気付くことがで きる。 ・材料と加工の技術に込められた工夫点につ いて考えている。	・材料と加工の 技術に込めら れた工夫点を 説明する場面 を通して「言語 能力」を育む。 ・主体的に材料 と加工の技術 について考え る場面を通し て「論理的思考 力」を育む。
	1章 身の回りの材料と加工の技術 A(1)ア A(1)イ	□身のまわりの製品の材料 □木材・金属・プラスチック の特性	2	【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りの製品が材料と加工の技術によっ て最適化されていることに気付くことがで きる。 ・材料と加工の技術に込められた工夫点につ いて考えている。 ——評価—— 【知識・技能】 ・身の回りの製品に生かされている材料の特性 と材料に適した加工方法について理解してい る。 ・木材、金属、プラスチックなどの特性と特性 を生かした利用方法について理解している。 ・目的とする加工に応じた工具や機器につい て理解している。 ・工具や機器を適切に選択し、簡単な製作品 を製作できる技能を身に付けている。 ・身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活 動などを通して、構造と部材を丈夫にする方 法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・身の回りの製品が材料と加工の技術によっ て最適化されていることに気付くことがで きる。 ・材料と加工の技術に込められた工夫点につ いて考えている。	
5		□丈夫な製品を作るために □材料と加工の技術を読み 取ろう	2	【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りの製品が材料と加工の技術によっ て最適化されていることに気付くことがで きる。 ・材料と加工の技術に込められた工夫点につ いて考えている。	
6 7 8	1章「製作の基礎技能」を身につけよう	【幼児用イスの製作】 身につける技能 □けがき □切断 □部品加工 □組み立て □仕上げ	10	【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りの製品が材料と加工の技術によっ て最適化されていることに気付くことがで きる。 ・材料と加工の技術に込められた工夫点につ いて考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りの製品が材料と加工の技術によっ て最適化されていることに気付くことがで きる。 ・材料と加工の技術に込められた工夫点につ いて考えている。	
8	2章 材料と加工の技術による問題解決 A(2)ア A(2)イ	□製作品を構想し、設計しよう □等角図・キャビネット図・ 正投影図 □3DCADを用いて 製作品のイメージをもと う	4	——指導目標—— 【知識・技能】 ・製作に必要な図の描き方を理解し、表すこ とができる技能を身に付けている。 ・安全・適切な製作や検査・修正をすること ができる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題 を	・「技術の見 方・考え方」 を働かせて、 問題を発見 し、自分な りの課題を 設定する場 面を通して「言

		<input type="checkbox"/> 単元テスト		見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・材料の選択や成形の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けている。 ・構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。	語能力」を育む。 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する場面を通して「論理的思考力」を育む。
9		<input type="checkbox"/> 問題を発見し、課題を設定しよう・製作の計画を立てよう・作業手順を考えて製作しよう <input type="checkbox"/> 製作の計画立て (木材加工実習 ~ 棚づくり ~) <input type="checkbox"/> 8時間で製作	8	<p style="text-align: center;">—————評価—————</p> 【知識・技能】 ・製作に必要な図の描き方を理解し、表すことができる技能を身に付けている。 ・安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・材料の選択や成形の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けている。 ・構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。	
10		<input type="checkbox"/> けがき <input type="checkbox"/> 切断 <input type="checkbox"/> 切削 <input type="checkbox"/> 穴あけ <input type="checkbox"/> 組立て <input type="checkbox"/> 表面加工 <input type="checkbox"/> 2時間棚づくりの評価・交流			
11					
12	3章 社会の発展と材料と加工の技術 A (3) ア A (3) イ   	<input type="checkbox"/> 材料と加工の技術の最適化 <input type="checkbox"/> これからの材料と加工の技術	1	<p style="text-align: center;">—————指導目標—————</p> 【知識・技能】 ・材料と加工の技術の概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・材料と加工の技術の最適化を考えている。 ・これからの材料と加工の技術を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。 <p style="text-align: center;">—————評価—————</p> 【知識・技能】 ・材料と加工の技術の概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・材料と加工技術の最適化について考えている。 ・これからの材料と加工の技術について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。	・材料と加工の技術の最適化を考え説明刷る場面を通して「言語能力」を育む。 ・材料と加工の技術を工夫し創造しようとする場面を通して「論理的思考力」を育む。
	4編 情報の技術 目標：生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身につけ、情報の技術と生			<p style="text-align: center;">—————指導目標—————</p> 【知識・技能】 ・情報の表現や記録ができる仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係を理解している。	・身の回りにある情報の技術に込められた工夫について説明する場面

1 2	<p>活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、工夫し創造しようとする事ができる。</p> <p>1章 生活や社会を支える情報の技術</p>  <p>□身の回りの情報の技術 □コンピュータの仕組み □情報のデジタル化 □情報通信ネットワークの仕組み □情報セキュリティの仕組み □情報モラル □問題解決の工夫</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの構成について理解している。 ・情報通信ネットワーク上での情報を利用する仕組みについて理解している。 ・情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる技能を身に付けている。 ・情報セキュリティの基本的な知識について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けている。 ・身の回りにある情報の技術に込められた工夫について考えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付けている。 ・主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。 <p style="text-align: center;">—————評価—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の表現や記録ができる仕組み、デジタル化の方法とデータ量の間関係を理解している。 ・情報通信ネットワークの構成について理解している。 ・情報通信ネットワーク上での情報を利用する仕組みについて理解している。 ・情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる技能を身に付けている。 ・情報セキュリティの基本的な知識について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けている。 ・身の回りにある情報の技術に込められた工夫について考えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付けている。 ・主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。 	<p>を通して「言語能力」を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を考える場面を通して「論理的思考力」を育む。
2			<p style="text-align: center;">—————指導目標—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができること。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を見いだして課題を設定し、使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 <p style="text-align: center;">—————評価—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの構成と、情報を利用す 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある情報の技術に込められた工夫について説明する場面を通して「言語能力」を育む。 ・情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を考える場面を通して「論理的思考力」を育む。
3	<p>2章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決</p> <p>D (2) ア D (2) イ</p> 	<p>□コンテンツのプログラムを制作しよう 「なでしこプログラム」</p> <p>□問題解決の評価、改善・修正</p>	<p style="text-align: center;">—————指導目標—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができること。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を見いだして課題を設定し、使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 <p style="text-align: center;">—————評価—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの構成と、情報を利用す 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある情報の技術に込められた工夫について説明する場面を通して「言語能力」を育む。 ・情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を考える場面を通して「論理的思考力」を育む。

				<p>るための基本的な仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができること。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を見いだして課題を設定し、使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法等を構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 	
			35		

令和7年度 第2学年 技術・家庭科（技術分野）			年間指導計画		
月	単元名／題材名 目標		時 数	指導目標／評価 ※指導目標…単元で身に付ける力、目指す生徒の姿 ※評価…評価規準Bにあたる具体的な生徒の姿	「論理的思考力」 「言語能力」 点 教科横断的視
	小・中単元名／ 題材名／教材名	指導事項			
4	ガイダンス		1	・年間の学習の見通しをもたせ、身に付けたい力を確認する。	
5 6	2編 生物育成の技術 目標：生活や社会で利用されている生物育成の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身につけ、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深め、問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて工夫し創造しようとする事ができる。			<p style="text-align: center;">—————指導目標—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物を育てる技術の目的について理解している。 ・作物の育成環境を調節する技術について理解している。 ・育成環境を工夫して作物を育成することができる技能を身に付けている。 ・作物の成長を管理する技術について理解している。 ・動物を健康に育てるための技術について理解している。 ・水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。 <p style="text-align: center;">—————評価—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物を育てる技術の目的について理解している。 ・作物の育成環境を調節する技術について理解している。 ・育成環境を工夫して作物を育成することができる技能を身に付けている。 ・作物の成長を管理する技術について理解している。 ・動物を健康に育てるための技術について理解している。 ・水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考え説明刷る場面を通して「言語能力」を育む。 ・主体的に生物育成の技術について考える場面を通して「論理的思考力」を育む。
	1章 生活や社会を支える生物育成の技術 B(1)ア B(1)イ	<input type="checkbox"/> 身の回りの生物育成の技術 <input type="checkbox"/> 作物の育成環境を調節する技術 <input type="checkbox"/> 作物の成長を管理する技術 <input type="checkbox"/> スプラウト栽培（育成環境の調整） <input type="checkbox"/> 動物を育てる技術 <input type="checkbox"/> 水産生物を育てる技術 <input type="checkbox"/> 生物育成の技術の問題解決の工夫	2		



7	<p>2章 生物育成の技術による問題解決</p> <p>B(2)ア B(2)イ</p>  	<p>□問題を発見し、課題を設定しよう</p> <p>□生物の育成計画を立てよう</p> <p>□「〇〇」を栽培しよう</p> <p>□成長段階に合わせて適切に育成しよう</p> <p>□問題解決の評価、改善・修正</p>	4	<p>—————指導目標—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 育成する作物に適した環境条件について考えている。 育成する目的に合わせて、栽培計画を立てる力を身に付けている。 育成の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 <p>—————評価—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 育成する作物に適した環境条件について考えている。 育成する目的に合わせて、栽培計画を立てる力を身に付けている。 育成の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生物を育成し、観察のまとめをする場面を通して、「言語能力」を育む。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとする場面を通して「論理的思考力」を育む。
8	<p>3章 社会の発展と生物育成の技術</p> <p>B(3)ア B(3)イ</p>	<p>□生物育成の技術の最適化</p> <p>□これからの生物育成の技術</p>    	1	<p>—————指導目標—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物育成の技術の概念について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物育成の技術の最適化について考えている。 これからの生物育成の技術について考えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。 <p>—————評価—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物育成の技術の概念について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物育成の技術の最適化について考えている。 これからの生物育成の技術について考えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> これからの生物育成の技術について考えまとめる場面を通して「言語能力」を育む。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとする場面を通じて「論理的思考力」を育む。
9 10	<p>3編 エネルギー変換の技術</p> <p>目標：生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身につけ、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深め、問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて工夫し創造しようすることができる。</p>	<p>—————指導目標—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。 発電の仕組みと特徴について理解している。 電源の種類と特徴や、送電・配電の仕組みを理解している。 電気回路の仕組みについて理解している。 簡単な電気回路を回路図で表すことができる技能を身に付けている。 電気機器の安全な使い方について理解している。 機械が運動を伝える仕組みについて理解している。 運動の種類とエネルギー変換について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな発電方法の工夫、送電・配電の技術の工夫、電気による事故を防ぐ方法、エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考え、まとめる場面を通して 		

11	<p>1 章 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術</p> <p>C (1) ア C (1) イ</p>  	<p>□エネルギー変換の技術とは何だろう</p> <p>□発電の仕組みと特徴</p> <p>□電気を供給する仕組み</p> <p>□電気回路について考えよう</p> <p>□電気機器を安全に使用するための技術</p> <p>□エネルギー変換の技術の問題解決の工夫</p>	<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回転運動を伝える仕組みの特徴と用途を理解している。 ・リンク機構やカム機構について理解している。 ・熱や水、空気などの流体を用いたエネルギー変換の特性について理解している。 ・機械の共通部品と保守点検の大切さについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。 ・送電・配電の技術の工夫について考えている。 ・電気による事故を防ぐ方法について考えている。 ・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。 <p style="text-align: center;">————— 評価 —————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。 ・発電の仕組みと特徴について理解している。 ・電源の種類と特徴や、送電・配電の仕組みを理解している。 ・電気回路の仕組みについて理解している。 ・簡単な電気回路を回路図で表すことができる技能を身に付けている。 ・電気機器の安全な使い方について理解している。 ・機械が運動を伝える仕組みについて理解している。 ・運動の種類とエネルギー変換について理解している。 ・回転運動を伝える仕組みの特徴と用途を理解している。 ・リンク機構やカム機構について理解している。 ・熱や水、空気などの流体を用いたエネルギー変換の特性について理解している。 ・機械の共通部品と保守点検の大切さについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。 ・送電・配電の技術の工夫について考えている。 ・電気による事故を防ぐ方法について考えている。 ・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。 	<p>て、「言語能力」を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的にエネルギー変換の技術について考える場面を通して、「論理的思考力」を育む。
12 1 2	<p>1 章 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術</p> <p>C (1) ア C (1) イ</p> <p>2 章 エネルギー変換の技術による問題解決</p> <p>C (2) ア</p>	<p>□機械が動く仕組み</p> <p>□機械の共通部品と保守点検の大切さ</p> <p>TEC 未来：知識・技能編 【6時間】</p> <p>□運動エネルギーへの変換と利用</p> <p>□回転運動を伝える仕組み</p> <p>TEC 未来：問題解決編 【5時間】</p> <p>□問題を発見し、課題を設定しよう</p>	<p>13</p> <p style="text-align: center;">————— 指導目標 —————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構想に基づいて設計し、電気回路の回路図や機構モデルの回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身に付けている。 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 <p style="text-align: center;">————— 評価 —————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構想に基づいて設計し、電気回路の回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構想に基づいて、まとめながら製作の計画を立てる中で「言語能力」を育む。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとする場面を通して「論理的思考力」を育む。

	<p>C (2) イ</p>  	<p>□機構モデルを設計・製作しよう</p> <p>□問題解決の評価、改善・修正</p> <p>□製作品の交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構想に基づいて設計し、機構モデルの回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身に付けている。 ・構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身に付けている。 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 	
3	<p>4 編 情報の技術</p> <p>目標：生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身につけ、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深め、問題を見だし、課題設定し解決する力、より良い生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとすることができる。</p> <p>3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決 D (3) ア D (3) イ</p> <p>2章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 D (2) ア D (2) イ</p>	<p>□計測・制御システムとは何だろう</p> <p>□問題を発見し、課題を設定しよう</p> <p>□計測・制御システムを構想しよう</p> <p>□計測・制御システムのプログラムを制作しよう</p> <p>□問題解決の評価、改善・修正</p>    	<p>7</p> <p>—————指導目標—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測・制御システムの基本的な構成、プログラムの役割を理解している。 ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。 ・計測・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 <p>—————評価—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測・制御システムの基本的な構成、プログラムの役割を理解している。 ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。 ・計測・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定し、説明刷る場面を通して「言語能力」力を育む。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組む場面を通して「論理的思考力」を育む。
			35	

月	単元名／題材名 目標		時 数	指導目標／評価 ※指導目標…単元で身に付ける力、目指す 生徒の姿 ※評価…評価規準Bにあたる具体的な生 徒の姿	「論理的 思考 力」 「言語能 力」 点	教科横 断的 視	
	小・中単元名／ 題材名／ 教材名	指導事項					
4	ガイダンス		1	・年間の学習の見通しをもたせ、身に 付けたい力を確認する。			
	3編 エネルギー変換の技術 目標：生活や社会で利用されているエネルギー 変換の技術についての基礎的な理解を 図り、それらに係る技能を身につけ、エ ネルギー変換の技術と生活や社会、環境 との関わりについて理解を深め、問題 を見いだして課題を設定し解決する力、よ りよい生活や持続可能な社会の構築に 向けて工夫し創造しようとすることが できる。			<p style="text-align: center;">————指導目標————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。 発電の仕組みと特徴について理解している。 電源の種類と特徴や、送電・配電の仕組みを理解している。 電気回路の仕組みについて理解している。 簡単な電気回路を回路図で表すことができる技能を身に付けている。 電気機器の安全な使い方について理解している。 機械が運動を伝える仕組みについて理解している。 運動の種類とエネルギー変換について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。 送電・配電の技術の工夫について考えている。 電気による事故を防ぐ方法について考えている。 エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。 <p style="text-align: center;">————評価————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。 発電の仕組みと特徴について理解している。 電源の種類と特徴や、送電・配電の仕組みを理解している。 電気回路の仕組みについて理解している。 簡単な電気回路を回路図で表すことができる技能を身に付けている。 電気機器の安全な使い方について理解している。 機械が運動を伝える仕組みについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。 送電・配電の技術の工夫について考えている。 電気による事故を防ぐ方法について考えている。 エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定し、説明刷る場面を通して「言語能力」力を育む。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組む場面を通して「論理的思考力」を育む。 		
5	1章 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 C(1)ア C(1)イ	<input type="checkbox"/> エネルギー変換の技術とは何だろう <input type="checkbox"/> 発電の仕組みと特徴 <input type="checkbox"/> 電気を供給する仕組み 「ラジオの製作：3時間」 以下の項目に触れながら電気回路の製作を行う <input type="checkbox"/> 電気回路について考えよう <input type="checkbox"/> 電気機器を安全に使用するための技術 <input type="checkbox"/> エネルギー変換の技術の問題解決の工夫	9	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。 送電・配電の技術の工夫について考えている。 電気による事故を防ぐ方法について考えている。 エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。 			
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
1	4章 社会の発展と情報の技術 D(4)ア	<input type="checkbox"/> 情報の技術の最適化 <input type="checkbox"/> これからの情報の技術	7	<p style="text-align: center;">————指導目標————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の技術の概念について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の技術の最適化について考えている。 これからの情報の技術について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の最適化、これからの情報の技術について考え説明する場面を通 		

	D (4) イ		<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。 <p>—————評価—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の技術の概念について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の技術の最適化について考えている。 ・これからの情報の技術について考えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。 	<p>して、「言語能力」を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようと考え、場面を通して「論理的思考力」を育む。
			17	

令和7年度 第1学年 技術家庭科(家庭分野)			年間指導計画		
月	単元名/題材名 目標		時 数	指導目標/評価 指導目標...単元で身に付ける力、目 指す生徒の姿 評価...評価規準 Bにあたる具体的な 生徒の姿	論理的 思考力 言語能力 教科横断的 視点
	小・中単元名/ 題材名/ 教材名	指導事項			
4	オリエンテー ション	1章:家庭分野のガイダンス	1	・年間の学習の見通しをもたせ、身 に付けたい力を確認する。	
	1編:未来につながる家庭分野 2章:私たちの家族・家庭生活(1時間) 目標:自分の成長と家族や家庭生活との関わり が分かり、家族・家庭の基本的な機能 について理解するとともに、家族や 地域の人々と協力・協働して家庭生活 を営む必要があることに気付く。			指導目標 【知識・技能】 ・自分の成長と家族や家庭生活との関り が分かり、家族・家庭の基本的な機能 について理解しているとともに、家族 や地域の人々と協力・協働して家庭生 活を営む必要があることに気付く。	自分の成 長と家族や 家庭生活と の関りや、家 族・家庭の基 本的に機能 について理 解したこと や、家族や地 域の人々と 協力・協働し て家庭生 活を営む必要 があること への気付き を整理する 中で「言語能 力」を育む。
	2章:私たちの 家族・家庭 生活 	私たちの家族と家庭生活 中学生と家族の1日の家 庭生活 私たちがなう家族・家 庭の機能	1	評価 【知識・技能】 ・自分の成長と家族や家庭生活との関り が分かり、家族・家庭の基本的な機能 について理解しているとともに、家族 や地域の人々と協力・協働して家庭生 活を営む必要があることに気付いて いる。	
	2編:私たちの食生活(4時間) 1章:食事の役割と中学生の栄養の特徴 目標:栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄 養的な特質について理解する。中学生の1日に 必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献 立作成の方法について理解する。中学生の1日 分の献立について考え、工夫する。  			指導目標 【知識・技能】 ・栄養素の種類と働きが分かり、食品の 栄養的な特質について理解する。 【思考・判断・表現】 ・中学生の1日分の献立について問題を 見出して課題を設定し、解決策を構想 し、実践を評価・改善し、考察したこ とを論理的に表現するなどして課題 を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい生活の実現に向けて、中学生 に必要な栄養を満たす食事について、 課題の解決に主体的に取り組んだり、 振り返って改善したりして、生活を工 夫し創造し、実践しようとしている。	栄養素の 種類と働き や、食品の 栄養的な特 質に加え、 中学生の1 日に必要な 食品の種類 と概量など について理 解したこと を整理する 中で「言語 能力」を育 む。
	1 食事の役割	栄養素の種類と特徴につ いて復習、確認する。 なぜ食事をするのか 朝食について	1	・よりよい生活の実現に向けて、中学生 に必要な栄養を満たす食事について、 課題の解決に主体的に取り組んだり、 振り返って改善したりして、生活を工 夫し創造し、実践しようとしている。	
	2 私たちの食 生活	健康を支える 3本の柱 健康に良い食習慣につい て 食事の取り方	1	評価 【知識・技能】 ・栄養素の種類と働きが分かり、食品の	学習した知 識について 考え、工夫 する過程で

	3 栄養の種類と働き	栄養素の種類・働き 水の働き	1	<p>栄養的な特質について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の1日分の献立について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 	「論理的思考力」を育む。
	4 中学生に必要な栄養	食事摂取基準 スポーツと栄養	1		
	<p>2 編：私たちの食生活</p> <p>3 章：調理のための食品の選択と購入(4時間)</p> <p>目標：日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> </div> </div>			<p style="text-align: center;">指導目標</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。 ・食品や調理用具等の安全と性背に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 <p style="text-align: center;">評価</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。 	<p>関連付け、用途に応じた食品の選択についてや、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について、また材料に適した加熱調理の仕方についてや、地域の食文化について理解し、整理する中で「言語能力」を育む。</p> <p>学習した知識を生かして、日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫する過程で</p>
	1 食品の選択と購入	食品の選択と購入 食品の表示	1		
	2 生鮮食品の特徴 3 加工食品の特徴	<p>それぞれの食品の特徴・表示</p> <p>消費期限・賞味期限</p> <p>アレルギー</p> <p>(1時間)</p> <p>【オレンジジュースを作ってみよう】(1時間)</p> <p>添加物</p>	2		
	4 食品の保存と食中毒の防止	食品の保存方法 食中毒の防止	1		
	<p>2 編：私たちの食生活</p> <p>4 章：日常食の調理と地域の食文化(6時間)</p> <p>目標：日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできる。食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできる。材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切</p>				

	<p>にできる。地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫する。</p>			<p>もに、適切にできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品や調理用具等の安全と性背に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 	「論理的思考力」を育む。
	  				
実習の衛生と安全	1 日常食の調理	調理のための手順・サイクル 調理の基礎技能 ・衛生・計量・調味 ・切る・加熱・盛り付け ・後片付け	1	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 	
	2 野菜・いもの調理	野菜・いもの種類 調理場の性質	1		
	2 野菜を調理しよう	計画（1時間） 調理実習（2時間） 何を調理するかは生徒の実態に応じて配慮する。 レポート（1時間）	4		
5	<p>3編：私たちの衣生活（8時間） 1章：衣服の選択と手入れ 目標：衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解する。衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできる。衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫する。</p> 			<p>指導目標</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解する。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に 	衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択についてや、衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、整理する中で
	1 衣服の役割	衣服の保健衛生上の働き・生活行動上の働き・社会生活上の働きについて知る。	1		
	2 私らしさとT.P.O 着	個性を生かす服装コーディネートを考えよ	1		

	方の工夫	う		主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	「言語能力」を育む。
	3 日本の衣服の文化	和服の文化 地域に伝わる染色 和服の構成 和服を着てみよう	1	評価 【知識・技能】 ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	学習した内容を生かして、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫する過程で、「論理的思考力」を育む。
	4 衣服の手入れ -衣服の補修 -	手縫い ・まつり縫い ・スナップ付け	2	【思考・判断・表現】 ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
6	5 衣服の手入れを -衣服の洗濯と保管 -	【教科書 P.130~ 137】 座学：1時間 衣服の汚れ 繊維に応じた手入れ しみ抜き実験：1時間	2		
	6 衣服計画と必要な衣服の選択	衣服計画 衣服の入手 既製服の選び方・表示 採寸	1		
7 8 9	3 編：衣食住の生活 2 章：生活を豊かにする製作（8時間） 3 章：持続可能な衣生活（1時間） 目標：製作する物に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫する。			指導目標 【知識・技能】 ・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、適切にできる。 【思考・判断・表現】 ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい生活の実現に向けて、生活を	製作する物に適した材料や縫い方について理解し整理する中で「言語能力」を育む。 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作

<p>1 作って楽しい布作品</p> 	<p>ミシンの使い方（1時間） 計画（1時間） 布を使った製作活動（5時間） 振り返り（1時間）</p>	<p>8</p>	<p>豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p>評価</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、適切にできる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<p>計画を考え、製作を工夫する過程で「論理的思考力」を育む。</p>
<p>3章:持続可能な衣生活</p> <p>1 持続可能な衣生活を 目指して</p>	<p>資源や環境と衣服</p> <p>資源や環境に配慮した衣生活の工夫</p>	<p>1</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 	
<p>6編：家族・家庭生活（2時間）</p> <p>3章：家族・家庭や地域とのかかわり</p> <p>目標:自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付く。</p> 			<p>指導目標</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>家庭関係をよりよくし、高齢者や地域の人々と協働する方法についての課題を見つけ、その解決を目指して工夫することができる。</p> <p>評価</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>家庭関係をよりよくし、高齢者や地域の人々と協働する方法についての課題を見つけ、その解決を目指して工夫することができる。</p>	
<p>3章：家族・家庭や地域とのかかわり</p>	<p>家族との関わり 家族や地域の高齢者との関わり</p>	<p>2</p>	<p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>家庭関係をよりよくし、高齢者や地域の人々と協働する方法についての課題を見つけ、その解決を目指して工夫することができる。</p>	
		<p>3 5</p>		

令和7年度 第2学年 技術家庭科（家庭分野）			年間指導計画		
月	単元名／題材名 目標		時 数	指導目標／評価 ※指導目標…単元で身に付ける力、目 指す生徒の姿 ※評価…評価規準Bにあたる具体的な 生徒の姿	「論理的 思考力」 「言語能力」 教科横断的 視点
	小・中単元名 ／題材名／ 教材名	指導事項			
4	オリエンテ ーション	家庭分野のガイダンス	1	・年間の学習の見直しをもたせ、身 に付けたい力を確認する。	
	2編：私たちの食生活（4時間） 2章：中学生に必要な栄養素を満たす食事 目標：栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養 的な特質について理解する。中学生の1日に必要 な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成 の方法について理解する。中学生の1日分の献立 について考え、工夫する。			—————指導目標————— 【知識・技能】 ・栄養素の種類と働きが分かり、食品 の栄養的な特質について理解する。 【思考・判断・表現】 ・中学生の1日分の献立について問題 を見出して課題を設定し、解決策を 構想し、実践を評価・改善し、考察 したことを論理的に表現するなどして 課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい生活の実現に向けて、中学 生に必要な栄養を満たす食事につい て、課題の解決に主体的に取り組ん だり、振り返って改善したりして、 生活を工夫し創造し、実践しようと している。	栄養素 の種類と 働きや、 食品の栄 養的な特 質に加え、 中学生の1日 に必要な 食品の種 類と概量 や、1日 分の献立 作成の方 法につい て理解し たことを 整理する 中で「言 語能力」 を育む。
	 				
	1 食品に含 まれる栄養 素	<input type="checkbox"/> 食品に含まれる栄養素 ・食品成分表	1	・よりよい生活の実現に向けて、中学 生に必要な栄養を満たす食事につい て、課題の解決に主体的に取り組ん だり、振り返って改善したりして、 生活を工夫し創造し、実践しようと している。	
	2 6つの食 品群と食品 群別摂取量 の目安	<input type="checkbox"/> 6つの食品群 <input type="checkbox"/> 食品群別摂取量の目安	1		
	3 バランス の良い献立 作り	<input type="checkbox"/> バランスの良い献立作り（1時間） <input type="checkbox"/> 計画的な食事 献立作りの手順を確認 <input type="checkbox"/> 食事バランスガイド 献立作り（1時間） <input type="checkbox"/> 1日に必要な栄養を満たす献立 を考えよう（P.50 参考）	2	—————評価————— 【知識・技能】 ・栄養素の種類と働きが分かり、食品 の栄養的な特質について理解してい る。 【思考・判断・表現】 ・中学生の1日分の献立について問題 を見出して課題を設定し、解決策を 構想し、実践を評価・改善し、考察 したことを論理的に表現するなどして 課題を解決する力を身に付けてい る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい生活の実現に向けて、中学 生に必要な栄養を満たす食事につい て、課題の解決に主体的に取り組ん だり、振り返って改善したりして、 生活を工夫し創造し、実践しようと している。	学習した 知識を生 かして中 学生の1 日分の献 立につい て考え、 工夫する 過程で 「論理的 思考力」 を育む。

11	<p>2 編：私たちの食生活</p> <p>4 章：日常食の調理と地域の食文化（11 時間）</p> <p>5 章：持続可能な食生活を目指して（1 時間）</p> <p>目標：日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできる。食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできる。材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫する。</p>	  		<p>———指導目標———</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。 ・食品や調理用具等の安全と性背に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 <p>———評価———</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と関連付け、用途に応じた 	<p>日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択についてや、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について、また材料に適した加熱調理の仕方についてや、地域の食文化について理解し、整理する中で「言語能力」を育む。</p> <p>学習した知識を生かして、日常の1食分</p>
	3 肉の調理	<input type="checkbox"/> 座学（1 時間） <ul style="list-style-type: none"> ・肉の種類 ・肉の調理場の性質 <input type="checkbox"/> 計画（1 時間） <input type="checkbox"/> 調理実習（2 時間） <input type="checkbox"/> 反省&レポート（1 時間）	5		
	4 魚の調理	<input type="checkbox"/> 座学（1 時間） <ul style="list-style-type: none"> ・魚の種類 ・魚の調理場の性質 <input type="checkbox"/> 計画（1 時間） <input type="checkbox"/> 調理実習（2 時間） <input type="checkbox"/> 反省&レポート（1 時間）	5		

12	5 日本の食文化と和食の調理	<input type="checkbox"/> 地域の食材と調理 <input type="checkbox"/> 地域の食文化 <input type="checkbox"/> 日本各地の郷土料理	1	食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。 ・食品や調理用具等の安全と性背に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 【思考・判断・表現】 ・日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫する過程で「論理的思考力」を育む。
	5章：持続可能な食生活	1 持続可能な食生活を目指して (1時間) <input type="checkbox"/> 食品の安全 <input type="checkbox"/> 食料自給率 <input type="checkbox"/> 食品の廃棄 <input type="checkbox"/> 食品の輸送とエネルギー	1		
2	4編：私たちの住生活（8時間） 1章：私たちの住生活 2章：持続可能な住生活（1時間） 目標：家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解する。家庭内の自己の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解する。家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫する。	 		——指導目標—— 【知識・技能】 ・家族の生活と住空間の関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解する。 ・家庭内の自己の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解する。 【思考・判断・表現】 ・家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見い出して課題を設定し、快活策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族や地域の人々と協働し、より	家族の生活と住空間との関わりや、住居の基本的な機能について、また家庭内の自己の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解し整理す
	1 住まいの役割	<input type="checkbox"/> 住まいの役割 <input type="checkbox"/> 住まいに必要な空間 <input type="checkbox"/> 家族と住まい	1		

	2 住まいと気候風土との関わり	<input type="checkbox"/> 日本の伝統的な住まい方 <input type="checkbox"/> 現代の日本の住まい <input type="checkbox"/> 日本各地の住まい	1	<p>よい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し想像し、実践しようとしている。</p> <p>———評価———</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の生活と住空間の関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解しててる。 ・家庭内の自己の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見い出して課題を設定し、快活策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し想像し、実践しようとしている。 	<p>る中で「言語能力」を育む。</p> <p>学習した内容を生かして、家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫する過程で「論理的思考力」を育む。</p>
	3 健康で快適な室内環境	<input type="checkbox"/> 健康で快適な住まい <input type="checkbox"/> 室内空気を汚染するもの <input type="checkbox"/> 考えてみよう ・健康で快適な住まいを目指そう	1		
3	4 家族の住まいを安全・安心に	<input type="checkbox"/> 家庭内事故の現状 <input type="checkbox"/> 家庭内事故の予防 <input type="checkbox"/> 身近なバリアフリー、ユニバーサルデザイン	1		
	5 災害への対策	<input type="checkbox"/> 地域の災害と防災・減災 <input type="checkbox"/> 地震への備え <input type="checkbox"/> 中高生が被災時にできたこと <input type="checkbox"/> 避難所・仮設住宅	1		
	災害食を作ってみよう	<input type="checkbox"/> 制限がある中で日常に近い料理をつくろう <p>【ツナカレー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水は各班2～3Lのみ ・電気は使えない <input type="checkbox"/> レポート（1時間）	3		

	2章：持続可能な住生活	<input type="checkbox"/> 持続可能な社会と私たちの住生活 <input type="checkbox"/> 地域を見つめ直そう <input type="checkbox"/> 住む人が主役	1		
10	5編：私たちの消費生活・環境（5時間） 1章：私たちの消費生活 目標：購入方法や支払いの方法が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解する。売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫する。			<p style="text-align: center;">————指導目標————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解する。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物資・サービスの購入について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 <p style="text-align: center;">————評価————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物資・サービスの購入について問題 	購入方法や支払いの方法が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解し、売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解して整理する中で「言語能力」を育む。 学習した内容を生かして、物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫する過程で「論
	1 消費者としての自覚	<input type="checkbox"/> 中学生の消費生活 <input type="checkbox"/> 消費生活と契約	1		
	2 購入方法と支払い方法	<input type="checkbox"/> さまざまな購入方法 <input type="checkbox"/> さまざまな支払い方法	1		
11 12	3 バランス良く計画的な金銭管理	<input type="checkbox"/> 収入と支出 <input type="checkbox"/> クレジットカードと三者間契約	1		

	<p>4 消費者トラブルとその対策</p> <p><input type="checkbox"/>消費者トラブル <input type="checkbox"/>消費者のための法律や制度 <input type="checkbox"/>消費者のための相談機関 (1 時間)</p> <p><input type="checkbox"/>悪質商法対策ゲーム (1 時間)</p>	2	<p>を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 	<p>理的思考力」を育む。</p>
1 2	<p>2章：責任ある消費者になるために (2 時間) 3章：持続可能な消費生活 (1 時間)</p> <p>目標：消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1 貧困をなくそう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>16 平和と公正をすべての人に</p> </div> </div>		<p>—————指導目標—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立した消費者としての消費行動について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 <p>—————評価—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 	<p>購入方法や支払いの方法が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解し、売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解して整理する中で「言語能力」を育む。</p> <p>学習した内容を生</p>
	<p>1 何を考えて決めますか -意思決定のプロセス-</p>	<p><input type="checkbox"/>適切な商品の選択と購入の仕方 <input type="checkbox"/>商品購入シュミレーション</p>	1	
	<p>2 消費者としてできること -権利と責任-</p>	<p><input type="checkbox"/>消費者の権利と責任</p>	1	

	<p>3章：持続可能な消費生活</p>	<p><input type="checkbox"/>省エネルギーと持続可能な社会</p> <p><input type="checkbox"/>持続可能な消費生活を目指して</p>	<p>1</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立した消費者としての消費行動について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 	<p>かして、物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫する過程で「論理的思考力」を育む。</p>
			<p>35</p>		

令和7年度 第3学年 技術家庭科（家庭分野）		年間指導計画			
月	単元名／題材名 目標		時 数	指導目標／評価 ※指導目標…単元で身に付ける力、 目指す生徒の姿 ※評価…評価規準Bにあたる具体的 な生徒の姿	「論理的思考力」 「言語能力」 教科横断的視点
	小・中単元名／題材 名 ／教材名	指導事項			
4	オリエンテーション	家庭分野のガイダンス	1	・年間の学習の見通しをもたせ、 身に付けたい力を確認する。	
4 ～ 12	A編：家族・家庭生活 2章：幼児の生活と家族（16時間） 目標： 幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割や幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解するとともに、幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫する。			<p style="text-align: center;">—————指導目標—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解する。 ・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 <p style="text-align: center;">—————評価—————</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解する。 ・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 	幼児にとつ ての遊びの 意義や幼児 との関わり 方を考え、 工夫してい く中で「言 語能力」を 育む。 幼児の心身 の発達など を踏まえて、 幼児との よりよい 関わり方につ いて考 え、工夫す る中で「論 理的思考 力」を育む
	1 幼児の体の発達 を知ろう	□幼児の体の発達の特徴を理解する。 □幼児の運動機能の発達を理解する（P. 38～39）	1		
	2 幼児の心の発達 を知ろう	□幼児の言葉や情緒、社会性、ものの捉え方の発達の特徴を理解する（P. 40～43）			
	3 幼児の生活習慣 の身につけ方 を知ろう	□幼児が生活習慣を身に付けるには、まわりの大人の支えが必要であることを理解する。（P. 44～45）	1		
	4 幼児の生活の特 徴を知ろう	□幼児の一日の生活の特徴を理解する。（P. 46～47）			
	5 幼児の遊びと発 達のかかわり を知ろう	□幼児にとっての遊びの意義を理解する。 □幼児の心身の発達と遊びに葉深いかかわりがあることを理解する。（P. 50～55）	1		

	<p>6 幼児の発達を支える大人の役割を考えよう</p>	<p>□幼児の発達を支える家族の役割を理解する。 □幼児の発達を支える地域の役割を理解する。 (P. 56~57)</p>	1		
	<p>(4) 生活の課題と実践 幼児のおもちゃ作りをしよう</p>	<p>□計画づくり □おもちゃ作り</p>	4		
	<p>7 幼児とふれ合ってみよう</p> <p>○保育実習Ⅰ 【目的】 幼児の調査・観察</p> <p>○保育実習Ⅱ 【目的】 幼児を楽しませる</p>	<p>□幼児とのかかわり方を理解する。 □幼児を観察したり、実際にふれ合ったりすることを通して、幼児について理解を深める。(P. 58~63)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育実習の事前指導 ・保育実習 ・お礼の手紙 ・反省、評価 	7		
	<p>(4) 家族・家庭生活についての課題と実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、幼児の生活または地域の生活についての課題と計画、実践、評価 <p>□幼児のおやつを作ろう</p>	2		
			18		